

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	総合医学演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	前期	教室名	講義室
担 当 教 員	種村啓司、奈良上眞	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
鍼灸専門学校の最終目標としてあるのは、国家試験に合格し免許を取得することにある。本時は、はり師・きゅう師の国家試験の合格を目指し、その試験対策に重点を置いた授業を行う。前期においては、解剖学・生理学・東洋医学概論を中心に学習し理解を深める。						
《成績評価の方法と基準》						
前期末模擬試験にて評価						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
解剖学、生理学、東洋医学概論、経絡経穴概論、東洋医学臨床論						
《授業外における学習方法》						
国家試験過去問題の学習を進めていくこと						
《履修に当たっての留意点》						
必ず復習をし、国家試験過去問題へとつなげていき、知識を活用できるようになること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸国家試験に対する勉強のやり方を理解し、説明が出来る。	解剖学・生理学のテキスト	近い年度の国家試験1回分を実際に解いてみる	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 近年の国家試験を取り巻く状況 国家試験の勉強をする上での考え方・学習の方法			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学のテキスト	授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする	
		各コマにおける授業予定	解剖学:第1章 人体の構成(外表構造は除く) 第10章 運動器系の骨格系(総論と全身の骨格) 生理学:第1章・第2章			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学のテキスト	授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする	
		各コマにおける授業予定	解剖学:第10章 運動器系の「筋」に関する部分 生理学:第3章、第4章、第5章			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学のテキスト	授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする	
		各コマにおける授業予定	解剖学:第2回と第3回の授業範囲 生理学:第6章、第7章			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学のテキスト	授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする	
		各コマにおける授業予定	解剖学:第3章、第4章、第5章、第6章、第7章 生理学:第8章、第9章、第10章			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学のテキスト	授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする
		各コマにおける授業予定	解剖学:第2章 脈管系 第8章 神経系(伝導路と脊髄神経と自律神経系は除く) 生理学:第10章のN(自律神経のところ)、第11章、第12章		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学のテキスト	授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする
		各コマにおける授業予定	解剖学:第8章、第9章、第10章(運動器系の頸神経叢、腕神経叢、 腰仙骨神経叢のところ) 生理学:第13章、第14章、第15章		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学のテキスト	授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする
		各コマにおける授業予定	解剖学:第1章 人体の構成(外表構造は除く) 第10章 運動器系の骨格系(総論と全身の骨格) 生理学:第1章・第2章		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学のテキスト	授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする
		各コマにおける授業予定	解剖学:第10章 運動器系の「筋」に関する部分 生理学:第3章、第4章、第5章		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学のテキスト	授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする
		各コマにおける授業予定	解剖学:第2回と第3回の授業範囲 生理学:第6章、第7章		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学のテキスト	授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする
		各コマにおける授業予定	解剖学:第3章、第4章、第5章、第6章、第7章 生理学:第8章、第9章、第10章		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学のテキスト	授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする
		各コマにおける授業予定	解剖学:第2章 脈管系 第8章 神経系(伝導路と脊髄神経と自律神経系は除く) 生理学:第10章のN(自律神経のところ)、第11章、第12章		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学のテキスト	授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする
		各コマにおける授業予定	解剖学:第8章、第9章、第10章(運動器系の頸神経叢、腕神経叢、 腰仙骨神経叢のところ) 生理学:第13章、第14章、第15章		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学のテキスト	授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする
		各コマにおける授業予定	解剖学、生理学のテキストすべての範囲		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。	解剖学・生理学のテキスト	授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする
		各コマにおける授業予定	解剖学、生理学のテキストすべての範囲		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	陰陽五行学説の基本概念が理解できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	陰陽学説, 五行学説.		
第17回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	蔵象学説, 特に腎, 肝の生理が理解できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	蔵象学説, 腎と肝の生理機		
第18回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	蔵象学説, 特に脾, 肺, 心の生理が理解できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	蔵象学説, 脾と肺と心の生理機能		
第19回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	蔵象学説, 六腑, 奇恒の腑の生理が理解できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	蔵象学説, 六腑, 奇恒の腑の生理		
第20回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	蔵象学説, 五臓の相互関係が理解できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	蔵象学説, 五臓の相互関係		
第21回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	経絡の基本概念が理解できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	経絡の基本概念		
第22回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	病因学説の基本概念が理解できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	病因学説の基本概念		
第23回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	四診法の望診, 聞診の基本概念が理解できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	四診法の望診, 聞診の基本概念		
第24回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	四診法の間診(寒熱, 飲食, 睡眠, 二便)の基本概念が理解できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	四診法の間診(寒熱, 飲食, 睡眠, 二便)の基本概念		
第25回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	四診法の間診(発汗, 疼痛, 婦人科)の基本概念が理解できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	四診法の間診(発汗, 疼痛, 婦人科)の基本概念		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第26回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	四診法の切診(脈診, 腹診)が理解できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	四診法の切診(脈診, 腹診)の基本概念		
第27回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	弁証論治の八綱弁証, 気血津液弁証が理解できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	弁証論治の八綱弁証, 気血津液弁証の基本概念		
第28回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	臓腑弁証, 肝と腎の病証が理解できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	臓腑弁証, 肝と腎の病証の基本概念		
第29回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	臓腑弁証, 脾と肺の病証が理解できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	臓腑弁証, 脾と肺の病証の基本概念		
第30回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	まとめ	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	総合まとめ		
第31回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第32回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第33回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第34回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第35回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			